

経営学部 リフレクションペーパー

2012年度 <後期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 (曜日・時限) 流通システム論Ⅱ (金曜3限・6限 [2クラス開講]) 流通企業戦略論Ⅱ (火曜2限) ※ 旧カリ, 2009年度までの入学生対象 流通企業戦略論 (金曜4限) ※ 新カリ, 2010年度入学生対象
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論Ⅱは, 3限クラスが10段階評価で平均8.4, 6限クラスが同8.5であった。各質問項目に対する評価も含め, ほぼ例年通りの結果であったと考える。今年度より新規に開講された流通企業戦略論 (新カリ) については, 10段階評価で平均8.7であった。この科目は, 板書を用いずほぼすべての講義においてパワーポイントのスライドショーを活用するという点において, これまでと大きく異なる形式を採った。アンケート結果からは, そのことが高評価につながっていたとまでは必ずしも言えないものの, 少なくとも悪い影響をもたらしてはいないことが分かった。流通企業戦略論Ⅱ (旧カリ) については, 10段階評価で平均9.6という非常に高い評価を得た。ただし, この科目については, カリキュラム改変の影響で履修者が限定される上に有効回答数がごくわずかであり, 統計的にはあまり意味をなさない数値であると考ええる。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 流通企業戦略論 (新カリ) では, 15回の講義でシラバス記載の講義予定をすべて消化するために, 上記の通り, 時間のかかりやすい板書形式ではなくスライドショー形式を採用した。スライドショー形式の講義は, 学生が“ただ画面を眺めるだけ”に陥りやすいと考えられる。そこで, スライドショーの一部を穴埋め形式にした配布資料を作成し, 学生が授業を聞きながら空欄を補えるようにした。配布資料には, A3用紙両面にそれぞれ6枚ずつのスライドを配置し, 各スライドが書き込みやすい適切なサイズになるよう工夫した。また, 流通システム論Ⅱも含めてすべての講義において, これまでと同様に新聞記事や映像などの資料も交えながら, 理論と実践の両面から流通の全体像を理解できるように心がけた。加えて, 講義中に随時レポート課題を課し, 学生にその場で考えさせることを心がけた。これらの工夫に対して, 学生からは, 「パワーポイントの資料がとてもよみやすい」, 「スライド等わかりやすかった」, 「映像資料が多い所がとてもよかった」, 「テレビであれだけ流通のことを扱っているのだと初めて知った」, 「授業中のレポートなど, 自分で考える時間が有意義」など, 多くの好意的な感想を得ることができた。
3. 今後の改善点 スライドショー形式の講義について, スライドの切り替えが早すぎるという趣旨の意見がいくつかあった。次年度の講義でもスライドショーを活用する予定なので, この点は留意したい。流通システム論Ⅱについては, 「内容を深くしてもよかった」という意見と「内容が難しく理解するのに必死」という意見の両方があった。講義内容 (どこまで深い内容を講義するか) について, 次年度は若干の見直しを検討したい。また, 全般的に, 講義中の私語に対する不満が, 例年より少なかったもののまだ散見される。今後も引き続き快適な講義環境の保持に気を配りたい。